

エリアウェーブ

峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2731
 FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。峡東教育事務所のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。E-mail:maruyama-xdpr@pref.yamanashi.lg.jp

保幼・小・中連携セミナー報告

峡東地域教育推進連絡協議会

峡東地域教育推進連絡協議会では去る8月22日(火)、甲州市民文化会館において、保幼・小・中連携セミナーを開催しました。講師に社会教育課副主幹永井研一氏・田富小学校校長内藤和久氏・日川高等学校教諭市川哲也氏をお迎えし、総勢123名の皆さんに参加していただきました。今年度は第1部として『気付こう手を差し伸べよう 苦しんでいる子どもたちに ~今、私たちにできることは?~』をテーマに、3名の講師からご講演・事例発表をいただき、今日の社会問題である貧困で苦しんでいる子どもとその家庭の実情、県のサポート事業、学校での取組などを学びました。第2部としてグループ討議を行い、『子どもの貧困の現状についてや、私たちができる取組や連携活動として、どのようなことが考えられるか』などを話し合いました。事後アンケートでは多くの参加者から肯定的な評価をいただき、「今日の話聞いて、子どもの貧困が見えにくいことを改めて感じた。今日の話をもとに、できることを考えていきたいと思う」「人と人がつながることが全ての問題(貧困も含めて)を解決できる土台となっていることが確認できた。子どもたちに、人とつながろうとする力をつけていくことが、学校や地域・行政に求められていると思った」などの意見が寄せられました。一部講演の内容を掲載します。

社会教育課副主幹 永井研一 氏

子どもの貧困については、知・徳・体の成長・発達を遂げる子ども期に、早期の支援が無ければこの後の長い人生に影響を及ぼすことに成りかねないという非常に重要な課題と捉えています。しかし、貧困を外見から判断することは難しいと言われています。貧困には『絶対的貧困』と『相対的貧困』があり、前者は生存に必要な最低限な生活を下回る貧困で、後者は社会で普通とされる状態や通常であれば入手できる生活水準を下回る貧困です。「相対的貧困」は経済的だけでなく、人間関係の希薄化・孤立・自己肯定感の減退など、今日の日本が抱える大きな課題と言われています。親の年収別に子どもの高校卒業後の予定進路を見ますと、収入が高くなるにつれ、四年制大学への進学が増えています。一方、高校進学を経済的理由で断念している家庭があります。山梨県では、高等学校等就学支援金・高等学校等奨学給付金に加え、今年度から始まった高等学校等入学サポート事業など4つの施策を行っていますので、それらを利用してチャレンジするよう励ましていただければと思います。



田富中学校校長 内藤和久 氏

私たちに何ができるかをお話したいと思います。まずは『つなぐ』ということです。フードバンクへつなぐために、フードバンクが準備してくれた書類の裏面に校長名で『学校には誰が申請したのかといった情報は来ません。直接フードバンクに申し込んで利用してください』と書いて、準要保護の全家庭に配付しました。次に『つなげるからつながる』に踏み込むということです。離婚や転居で周りから孤立して子育てをしていたり、非正規雇用だったり社会保障のネットワークから漏れていたりする保護者とつながって欲しいと先生方をお願いしています。



日川高等学校教諭 市川哲也 氏

本校で実施しているフードドライブは、2年前のPTA会長がPTAに提案し、昨年度から始まりました。実施するタイミングは長期休業の前が妥当だろうという結論になり、休業前に実施される三者懇談の折りに、保護者に持ってきてもらい集めることにしました。実施のポイントは、箱の準備・集まった食材の仕分け・届け方です。もしこのような取組を実施するなら、小規模の学校は大変だと思いますので、いくつかの学校と一緒に実施するか、日川高校と時期を合わせてもらって届けてもらうという方法もあると思います。



陸上競技男子100mの桐生選手が、日本人として初めて10秒の壁を破りました。世界選手権では、代表落ちという苦汁を舐めましたが、不屈の精神の賜だと頭が下がります。県内でもスポーツ少年団の大会や中学総体・コンクールなどがありました。どれも順位が付きますので、参加者はもちろん、家族をはじめとする応援団も一つでも良い結果をと願ったことと思います。しかし、みんな分かっています。当日だけ頑張っても…。満足のいく結果を残すためには、日頃の生活・取り組みが必要だということ。

楽しい夏休みが終わりました。これから涼しく過ごしやすい季節を迎えます。学校でも家庭でも、生活リズムを夏休み前に戻して、自分の目標をしっかりと見据え、今できることを一つ一つがんばりましょう！

高校生インターンシップ

塩山高校・山梨高校

県内の高校では、生徒が自己の将来や進路に対して理解を深めながら、主体的に集団や社会の中で自己を生かそうとする意欲・態度や能力をはぐくみ、地域の産業や経済社会に直接触れ、勤労観や職業観を深めることを目的に、インターンシップを推進しています。峡東教育事務所管内の高校でも、夏休みを利用してインターンシップが行われましたが、2校の活動を取材させていただきました。

山梨高校2年生の大沢君・齊藤君・高橋君・渡邊君が7月24日(月)・25日(火)に山梨消防署でインターンシップを行いました。2日間の体験を通して、人命や財産を守る厳しさや日頃の準備の大切さを身をもって学べたと話してくれました。

塩山高校2年生の樋口君と古屋さんは7月27日(木)・28日(金)に塩山モンマーロでインターンシップを行いました。2人は店員のみなさんから接客の仕方や食材の準備などを教わりながら一生懸命取り組み、「大きな声で返事をする事、笑顔で対応すること、教えてもらったことを早く覚えることが大切」等を学べたと話してくれました。



児童生徒のサポート

NPO法人学びの広場ふえふき

学びの広場ふえふきでは、学校教育を支援する活動の一環として、中学生に対する学習支援を行っています。今年度も土曜日の午後に、英語・数学に特化した教室を開催するにあたり、5月27日(土)にガイダンスを実施し、受講を希望する63名のうち、44名の市内中学生や保護者が集まりました。ガイダンスでは早川副理事長から「学習の主役は皆さんです。土曜学びの広場の目的は基礎学力の定着です。30回の学びを大切にしていきましょう」と激励のあいさつがありました。

NPO法人笛吹市障がい者を支える会ありがとう

笛吹市障がい者を支える会ありがとうでは、笛吹市在住で甲府市内にある特別支援学校に通っている児童・生徒を支援しています。特に長期休業中を安全に楽しく過ごせるように寺子屋を実施しています。取材にお邪魔した日は、みんなで役割分担を決め、楽しく焼きそばづくりをしました。ホットプレートを利用した関係でブレイカーが落ちるハプニングはありましたが、みんなで協力して作った焼きそばの味は格別でした。



今年も元気な勸学院生

山梨ことぶき勸学院

6・7月は山梨小学校・御坂西小学校で孫世代の授業(家庭科)支援。8月は塩山高校で、孫世代の高校生からパソコンについて勉強。秋には学年ごとの研修旅行が待っています。今年も勸学院生は元気いっぱい、自分のため・地域のために頑張っています。



夏休みキャンプ

市教育委員会生涯学習課・青年会議所

3市では教育委員会生涯学習課を中心に、地域の小学生に学校や家庭ではなかなか体験できない夏ならではの行事を提供しました。笛吹市では6月3日(土)に「あしがわで自然とふれあおう!」を行いました。第3回となる今年度は50人の親子が参加し、山菜採りや魚のつかみ取り、竹で作ったお椀とはしを使った流しそうめんを体験しました。山梨市では8月1日(火)・2日(水)に「ユネスコ子どもキャンプ歴史探検隊」を行いました。あいにくの雨模様でしたが、26名の小学生と15名のボランティア高校生が、テントでの生活・火起こし体験・キャンプファイヤーを行い、交流を深めました。甲州市では8月9日(水)・10日(木)に「少年少女ふるさと探検隊」が行われました。6年生39名が参加し、飯盒炊爨、キャンプファイヤー、竜門峡ハイキングなど楽しく貴重な経験をしました。

また、甲州市青年会議所では8月19日(土)・20日(日)に「サマーキャンプ in 北杜～夏の終わりに仲間をつくろう～」を行いました。今年は28名の小学生に加え、新規に6名の塩山高校生がボランティアとして参加しました。参加した児童はスタッフや高校生の指導の下、日常では体験できない充実した2日間を過ごしました。

どの行事においても、参加者からは「自然にふれて楽しかった」「来年も行きたい」などの感想が寄せられました。



【笛吹市】



【山梨市】



【甲州市】



【甲州市青年会議所】



サイエンス ステップ

日川高校

日川高校では7月22日(土)、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の一環として、小学生を対象とした『サイエンス ステップ(小学生科学教室)』を今年度も実施しました。この教室は小学生にとって夏休みの恒例イベントになりつつありますが、今年度の目玉は中学生がティーチングアシスタントとして参加したことです。中学生は午前10時30分に集まり、高校生から受け持つ分野のポイントを一生懸命学び、午後1時からの教室では、高校生からの説明のアシスタントとして、備品を準備したり小学生と一緒に実験に取り組んだりしました。



教えて考えさせる授業

松里中・甲州市教育委員会

7月5日(水)、松里中学校体育館において甲州市「確かな学力」育成プロジェクト～授業研究会～が開かれました。保坂教育長はじめ市内小中学校の全教職員が集まる中、初めに同校数学科佐々木先生による提案授業が行われました。先生は生徒を4名程度の班に分け、説明→理解確認→理解深化の順で授業を進めていきました。

授業に引き続き、授業研究講演会として、佐々木先生が本時のポイント等に関する説明をし、それを受けて教えて考えさせる授業(OKJ)を全国に先駆けて提案されました東京大学大学院教育学研究科教授の市川伸一先生が講演を行いました。参加した先生方は、今後の授業に生かそうと、熱心に先生のお話にも耳を傾ける姿が印象的でした。



笛吹高校出前授業

笛吹高校・石和南小学校

夏休みを間近に控えた7月5日(水)、石和南小学校において笛吹高校情報科担当の飯室綾子先生による出前授業が行われました。5・6年生の全児童88人を対象に、オンラインゲーム・SNS・インターネット等との付き合い方について、映像を使ったり、クイズを出したり、時には友達と相談する場を入れたりしながら、楽しく分かりやすく授業を行っていました。授業のまとめとして先生から「IT 機器は人間が使うものです。機器に生活を乗っ取られたり、振り回されたりしないように、上手に距離を置きながら、情報社会を楽しんでいきたいものですね。」とお話がありました。授業参観を兼ねた授業でしたので、保護者も多数参加し、子どもと共に通信機器の使い方について学習しました。



やまなし子どもフェスティバル

山梨市子育て支援課

山梨市では8月5日(土)、リニューアルされた山梨市民会館を会場に、第18回やまなし子どもフェスティバルを開催しました。この日は朝から晴天に恵まれ、多くの子ども達がお父さん・お母さんと一緒に参加しました。会場前のロータリーには『警察署』・『消防署』・『自衛隊』・『峡東地域県民センター』などの協力により、消火体験・パトカーやはしご車などの乗車体験ができました。会場内では『おもちゃのとりかえっこ』・『ベビーマッサージ』・『子どもの前髪カット』などが行われ、参加したみなさんは思い思いのブースで、楽しい時間を過ごしていました。



ワイン文化課外活動

甲州市産業振興課

甲州市では8月7日(月)、次世代を担う子どもたちに、郷土愛の醸成と地域文化を理解してもらうための取組として、今年で2回目となる甲州市ワイン文化課外学習会「市内小中学生向けワインツーリズム」を開催しました。

1時間目は宮光園において、施設長三森先生から映像を交えて日本のワイン造りの原点である宮光園について学びました。引き続き2時間目は健康増進課管理栄養士小池先生から、栄養士と管理栄養士の違い、食事の違いが体に及ぼす影響、家族で食事をすることの大切さを学びました。3時間目は、場所をミル・プラントンに移して、コース料理に舌鼓を打ちながら、ソムリエの五味先生から、サラダやパンの食べ方、ナイフやフォークの使い方、食材の産地などを学びました。

当日は7組の親子が参加しましたが、参加者は「以前、『ふるさと山梨』の課題学習でワインに関する調べ学習をしたことがきっかけで参加した。知らないことがたくさんあったので、勉強する良い機会になります」とメモを取りながらそれぞれの講義を聴いていました。



人権のための講演会

峡東地域教育推進連絡協議会

峡東地域教育推進連絡協議会では、11月16日(木)に、笛吹市いちのみや桃の里ふれあい文化館を会場に「人権のための講演会」を開催します。今年度はいじめによってお子さんを亡くされた小森美登里さんを講師にお招きし、今まで正しいと思っていたいじめに対する対応の振り返りや親としてできることをみなさんと考えたいと思います。

ぜひ多くの皆さんに参加していただきたいと考えています。詳細につきましては、峡東教育事務所地域教育支援スタッフ(TEL0553-20-2731)までお気軽にお問い合わせください。

県中学校吹奏楽コンクール

峡東地域内中学校

今年度も7月30日(日)・8月5日(土)・6日(日)に山梨県吹奏楽連盟が主催する第57回山梨県吹奏楽コンクールが開かれ、峡東地域からも多くの中学校が参加しました。吹奏楽部といえば、文化部ながら体育部と同じくらい練習が厳しく、体力が必要とされています。先日も保幼・小・中連携セミナーの会場の下見に甲州市民文化会館にお邪魔しましたが、ある中学校の吹奏楽部の皆さんが夏休み返上で、みんなが良いところ悪いところを指摘しあいながら、より高みを目指して練習している姿が印象的でした。

結果は次のとおりですが、塩山中と山梨南中が県代表として9月9日(土)の西関東大会に出場しました。

東山梨	A	金賞	塩山中	笛吹	B	銀賞	浅川中
		金賞	山梨南中			銀賞	石和中
	B	金賞	塩山北中		銀賞	春日居中	
		金賞	勝沼中		銅賞	一宮中	
		銀賞	山梨北中		銅賞	御坂中	
		銅賞	笛川中				

全国・関東中学出場を目指した県中学総体結果ダイジェスト

◆ 笛吹市の中学校 ◆

◆ 東山梨の中学校 ◆

陸上競技(共通) 男子	石和中(5位)	陸上競技(共通) 女子	塩山中(優勝)
女子	石和中(4位)	(2年) 女子	山梨南中(3位)
	御坂中(8位)	(1年) 男子	山梨北中・松里中(7位)
(2年) 男子	石和中(3位)	女子	塩山中(優勝)
	春日居中(6位)	水 泳	男子 松里中(準優勝)
(1年) 男子	春日居中(2位)	体操競技	女子 勝沼中(準優勝)
女子	春日居中(6位)	バレーボール	男子 山梨南中(優勝)
	御坂中(8位)		女子 山梨南中(4位)
バレーボール	男子 一宮中・御坂中(ベスト8)	軟式野球	山梨南中(準優勝)
女子	石和中・春日居中	バスケットボール	男子 山梨南中(優勝)
	(ベスト8)		山梨北中(ベスト8)
バスケットボール	女子 浅川中(ベスト8)	ハンドボール	男子 山梨南中(優勝)
サッカー	一宮中・春日居中(ベスト8)		山梨北中(準優勝)
ソフトテニス	男子 石和中(3位)		塩山中(3位)
	浅川中・御坂中(ベスト8)		松里中(3位)
	女子 石和中(優勝)		女子 塩山中(優勝)
卓 球	女子 一宮中(4位)		山梨北中(準優勝)
	浅川中(ベスト8)		山梨南中(3位)
相 撲	浅川中(7位)	サッカー	山梨北中(3位)
ラグビー	春日居中(準優勝)	ソフトボール	山梨北中(準優勝)
弓 道	男子 石和中(3位)	ソフトテニス	男子 山梨南中(準優勝)
	女子 石和中(準優勝)	卓 球	男子 塩山中(ベスト8)
空手(形)	男子 石和中(ベスト8)		女子 塩山中・松里中(ベスト8)
空手(組手)	男子 石和中(4位)	バドミントン	男子 勝沼中(優勝)
	女子 石和中(準優勝)		大和中(3位)
			女子 勝沼中(準優勝)
		ラグビー	勝沼中(4位)
		空手(組手)	女子 山梨北中(ベスト8)



山梨県立日川高等学校

スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定校

<http://www.hikawa.kai.ed.jp/>

公式blog <http://blog.goo.ne.jp/hikawa-blog/>

ICTの効果的活用

アクティブ・ラーニング型授業

現中学3年生が大学を受験する時には大学入試が思考力重視に大きく変わります。日川高校では、その動きにいち早く対応し、「教わる」授業から「主体的に考える」授業への転換を行っています。



文武両道を科学する

5月の県高校総体では普通科高校最上位の3位に入賞。伝統の「文武両道」を生徒自らが科学しながら進化させ、急激な時代の変化に対応した、より高度な文武両道を目指しています。



日川

イノベーション

全生徒が課題研究に熱中

本年度から第2期5年間のSSHが始まりました。「変化する社会の中で新たな価値の創造に向けて挑戦し続ける人材の育成」を目指します。



更新されるHP情報

日川高校関連情報をブログで日々更新中です。生徒たちの活躍する姿、躍進を続ける日川高校を是非ご覧ください。

日川高校公式ブログ

紫風

日々の活動やイベント
授業風景などをリアル
タイムに発信します。

